

令和4年結城市議会第3回定例会が開催

日程 9月7日(水)～22日(木)

7日(水) 開会 (議案上程)

8日(木) 一般質問 (安藤・平・曾澤・秋元・土田議員)

* たいら陽子議員の質問時間は午前10時40分～11時40分

9日(金) 一般質問 (大里・稲葉・立川・上野・黒川議員)

12日(月) 総務委員会 (一般会計、国保、後期高齢者補正予算&条例1件)

条例1：育児休業の取得回数の制限等の緩和

13日(火) 産業・建設委員会 (一般会計、水道、下水道事業会計補正予算&請願1件)
請願1：「水田活用の直接支払交付金」の見直しを中止し、全ての農家経営の支援強化を求める請願

14日(水) 教育・福祉委員会 (一般会計、介護保険補正予算&条例1件、請願2件)

条例2：放課後児童クラブ(学童保育)について、民間事業者への委託を含めた運営主体の多様化を図る新規条例

請願2：教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度堅持のための政府予算に係る意見書採択を求める請願

請願3：加齢性高齢者の補聴器購入に係わる負担軽減(市独自の補助事業の実施)を求める請願 請願署名570人

15日(木) 決算の審査 総務委員会

16日(金) 決算の審査 産業・建設委員会

20日(火) 決算の審査 教育・福祉委員会

民報・きぬ(お知らせ版)



たいら陽子議員の今回の一般質問です。(一問一答方式選択)

たいら陽子議員

発行
日本共産党
結城市委員会

1. 新型コロナウイルス感染症第7波への対策及び検査の充実について

新型コロナウイルス感染症の第7波で新規陽性者が爆発的に拡大しました。茨城県でも1日だけで4,833人を数える日もありました。



結城市でも7月上旬から感染者が増加し、8月の1日当たりの感染者は平均が60人を超え、100人を超えた日が3日ありました。発熱外来は混み、検査結果を自宅で待つ状態で、陽性となった家族は保健所からの連絡も遅く、情報が少なく、検査キットもすぐに入手できなくて、困ったとの声がありました。第8波も予想されているので、第7波での対応や今後の取り組みについて伺います。

2. 加齢性難聴者の補聴器購入の市独自の助成について

高齢化が進む中で、補聴器を必要とする多くの高齢者から、補聴器が高価で年金生活者にとっては、経済的負担が大きく利用できないという悩みが出されています。

障がい者手帳を交付されない中等・軽度の難聴者には公的補助がないからです。

補聴器は、1台5万円～50万円と高額のため、日常生活に不便をおぼえながらも利用が困難となっている状態です。

特に加齢性難聴は、日常生活を不便にし、コミュニケーションを困難にするなど生活の質を落とす大きな原因となっています。

令和2年3月の議会での質問をしましたが、今回は全日本年金者組合結城支部の会員みなさんが暑い中、市独自の助成要望の署名を570人分集め、請願を提出していますので、皆さんの思いが実現できるように再度、伺っていきます。



3. 学校給食費の無料化について

学校給食は、子どもたちの健やかな成長を保証する学校教育の一環として取り組まれています。

しかし、新型コロナウイルス感染症の広がりや、物価高騰で、給食費が大きな負担となっている家庭も増えています。

こうしたなか、全国で、保護者の負担を軽減し、子育て世代を支援するために、給食費無償化や公費助成が広がっています。

茨城県内での無償化や減免の市町村が増えています。結城市では第3子以降は給食費は無料になっているものの、令和元年6月の議会でも同様の質問はしたのですが、当時からは比べてかなりの市町村が無償化や保護者負担の給食費の減免が進み、結城市は遅れているように思えます。前向きな答弁がいただけるよう質問していきます。



補正予算（案）の主な事業 予算額3億8,500万円

1.新型コロナウイルスワクチン感染症対策事業費（自宅療養者支援事業費）	504万円
2.その他	
行政改革推進経費（庁舎備品）	472万5千円
地域情報管理事務経費（県市町村共同システム整備運営協議会負担金）	55万円
公共施設長寿命化等推進基金積立金	2,720万2千円
まち・ひと・しごと創生事業（古民家・空き店舗再生、外観修景補助金）	600万円
戸籍・住民基本台帳事務経費	
（パソコン等システム用機器）	533万円
（オリジナル婚姻記念品）	20万3千円
（戸籍事務電算委託料）	1,387万1千円
民間保育所補助事業（消耗品）	97万6千円
公立保育所補助事業（消耗品）	50万5千円
（修繕費）	24万5千円
予防接種事務経費（子宮頸がんワクチン接種費）	100万8千円
認定農業者等育成事業費	
（農地利用効率化、新規就農者育成）	272万6千円
園芸振興事業費（儲かる産地支援）	57万4千円
避難施設・備蓄体制整備事業費（備蓄用倉庫）	2,425万5千円
自主防災組織育成事業費（補助金）	140万円
イベント・大会開催事業費	
（消耗品、イベント用備品）	277万4千円
学校給食センター運営管理経費（修繕費）	166万5千円



政治革新の道しるべ、
真実つたえ希望はこぼ

しんぶん 赤旗

日刊●月 3497円
日曜版●月 930円



9月は29日（木）
午後3時～5時
予約制

たいら陽子の生活・法律相談会

相談は
無料

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、生活者、事業所は甚大な被害に！ 困っている方、悩んでいる方、

相談役は、弁護士法人
「茨城の大地」の弁護士です。